

## 自己評価および外部評価結果

| 自己         | 外部  | 項 目                                                                                     | 自己評価                                                                               | 外部評価                                                                                                                                           |                   |  |
|------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|--|
|            |     |                                                                                         | 実践状況                                                                               | 実践状況                                                                                                                                           | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| I.理念に基づく運営 |     |                                                                                         |                                                                                    |                                                                                                                                                |                   |  |
| 1          | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                      | 事業所理念を休憩室に貼ったり、全員出席の会議で話したりして共有を図り実践につなげるようにしています。                                 | 開所当初から地域密着型サービスの意義を踏まえ、利用者が地域の中で健やかに暮らし続けられるために、職員間で話し合いを持ち、事業所独自の理念を作り上げ日々のサービス提供に努めている。気づきがあればその場で声をかけ合ったり、ミーティングの中で話し合ったりしながらサービス向上に活かしている。 |                   |  |
| 2          | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                      | 施設近くの美容室を利用したり、薬局で買い物したりしています。文化祭に出展したり、地域の行事や転倒予防教室にも参加しています。                     | 近隣の人々とは挨拶を交わすのみでなく、町内会にも加入するなど、地域の一員として合同避難訓練にも参加し連携を図っている。地域行事があれば出かけていくなど、近隣の方々や友人知人の訪問も大歓迎であり、日常的に交流を深めてきている。                               |                   |  |
| 3          |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                    | 運営推進会議にて出席者に近況を報告させて頂いたり、地域のバーベキュー大会やお月見の会に参加し、地域の方と交流し認知症について理解してもらえるように取り組んでいます。 |                                                                                                                                                |                   |  |
| 4          | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 二ヶ月に1回運営推進会議を行い、市の担当者、区長、地域の民生委員、隣接する同法人施設管理者、ご利用者に参加して頂き、事業所からの近況報告を行いご意見を頂いています。 | 運営推進会議は定期的に行われ、メンバーについては可能な限り参加を呼びかけている。会議は和やかな雰囲気の中、状況報告や情報交換のみならず、メンバーからの意見、質問を受けて双方向的な会議となっている。会議内容については全職員が共有しサービス向上に活かしている。               |                   |  |

| 自己 | 外部    | 項目                                                                                            | 自己評価                                                                                      | 外部評価                                                                                                                                             |                   |
|----|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |       |                                                                                               | 実践状況                                                                                      | 実践状況                                                                                                                                             | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5  | (4)   | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                 | 運営推進会議に参加して頂き情報提供しご意見を頂いています。新型コロナウイルス感染予防の為、会議開催できない際には書面にて報告しています。                      | 市担当者から運営推進会議のメンバーになってもらっており、折に触れ事業所の取り組み状況や利用者の状況を伝えアドバイスを頂きながら、日頃から何でも相談出来る協力関係を築いている。                                                          |                   |
| 6  | (5)   | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 定期的に身体拘束防止の会議を開催。玄関の施錠は夜間のみとし、ユニット間の移動も自由です。外に出ようとするご利用者に対しては制止しないことを徹底しています。             | 利用者の人権を守ることがケアの基本であるという認識の下、定期的に学ぶ機会を設け、職員の共通認識を図り意識的に取り組んでいる。何気なく発する言葉に気づいた時はその場で注意し合い、利用者が外に出る気配のある時は行動を共にし、安全確保に努めながら抑圧感のない自由な暮らしの支援に取り組んでいる。 |                   |
| 7  | (5-2) | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 虐待防止については全員出席の会議にて定期的に議題にあげています。虐待についての外部研修、その後の苑内研修をしています。不適切な言葉使いについても定期的に会議で議題にあげています。 | 「高齢者虐待防止法」について定期的に研修会で学び、理解の浸透や遵守に向けた取り組みを行っている。管理者・職員は今後も利用者との関わりの中で、言動や行動について振り返る機会を設けていきたいと意欲的である。                                            |                   |
| 8  |       | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している   | 成年後見制度を必要とされるご利用者はいませんが、地域包括や社協が間に入り対応している利用者様に対しては職員が対応し、都度情報共有を図っています。                  |                                                                                                                                                  |                   |
| 9  |       | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                        | 契約書と重要事項説明書を用いて説明し、同意を得ています。重要事項説明書に変更があった場合は、随時ご家族に変更事項について説明。確認書にて同意を得ています。             |                                                                                                                                                  |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目                                                                                             | 自己評価                                                                                                                | 外部評価                                                                                   |                   |
|----------------------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                            |     |                                                                                                | 実践状況                                                                                                                | 実践状況                                                                                   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 10                         | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 面会時や受診などの送迎時に気軽に話せる関係を作り、職員も積極的に関わっています。頂いた要望・意見については申し送り等で職員間で共有し運営に反映させています。又、家族会を開催し、頂いたご意見ご要望は全ご家族に報告(郵送)しています。 | 面会時や受診の送迎時には何でも話しやすい雰囲気作りに努める中で、利用者、家族からも自由な発言をもらうことが出来ており、頂いた意見は職員間で話し合い運営に反映させている。   |                   |
| 11                         | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 職員会議や日々の申し送り等で意見提案を伝え、検討事項は話し合い業務に反映できるよう取り組んでいます。                                                                  | 管理者はミーティングや職員会議の中で職員の意見や要望を聴く機会としている。また、日頃からの会話に耳を傾け、業務改善について話し合いながら運営に反映できるよう取り組んでいる。 |                   |
| 12                         |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 管理者も現場兼務になっており、個々の努力や実績、勤務状況について把握し、各自が働きやすい環境作りに努めています。休憩時間の改善にもつながっています。個人のスキルアップの為資格取得研修費用の負担、シフト調整をしています。       |                                                                                        |                   |
| 13                         |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 全員に外部研修を受ける機会を提供し研修後は苑内研修も行っています。                                                                                   |                                                                                        |                   |
| 14                         |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 定期的に各事業所の管理者意見交換会があり参加しています。又、年1回のグループホーム交流会があり、参加し情報交換しています。                                                       |                                                                                        |                   |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |                                                                                                |                                                                                                                     |                                                                                        |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている           | 入居前にできる限り本人とも面談し、現状の確認や困りごとなど本人から聞き取りを行っています。不安がある時は、事前情報での好きなことの話をするなど入居後の生活が想像しやすいように対応しています。                     |                                                                                        |                   |

| 自己 | 外部    | 項目                                                                            | 自己評価                                                                                             | 外部評価                                                                                                                                             |                   |
|----|-------|-------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |       |                                                                               | 実践状況                                                                                             | 実践状況                                                                                                                                             | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 |       | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている     | 入居前にはご家族とできる限り面談し、本人からの聞き取りと合わせながら困りごと等話をし、それに対しどのような対応が可能かも伝え、入居後の生活が想像しやすいように対応しています。          |                                                                                                                                                  |                   |
| 17 |       | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | グループホームで対応可能な範囲を伝えた上で、状況に応じて他に様々なサービスがあることを伝えています。                                               |                                                                                                                                                  |                   |
| 18 |       | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                 | 家事作業や買い物等、自分のできる事はして頂き、自分らしく生活できるように、職員は寄り添う立場であることを意識しながら関係に努めています。                             |                                                                                                                                                  |                   |
| 19 | (7-2) | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている  | 受診や外出・外泊等ご家族の協力を得られています。ご利用の様子を毎月写真と一緒に送付、家族会を開催、イベントに参加して頂いたり、ご家族との絆を大切にし、ご本人を支えていく関係作りに努めています。 | 職員は家族の思いに寄り添いながら、毎月の手紙の中や面会時に日々の暮らしの出来事や気付きの情報共有に努め、馴染みの理美容院利用や家族会への参加、自宅外泊を通して協力的な家族も多く、共に本人を支えていく姿勢に努めている。                                     |                   |
| 20 | (8)   | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている              | 地域行事に参加したり、地元のスーパーでの買い物、行きつけの美容室やかかりつけ医に継続受診できるよう支援しています。又、ご家族の他、ご友人、ご近所の方の面会も受け入れています。          | 在宅時から利用していた理美容院へ行き続けている利用者や、家族と共に外出した際の話にも耳を傾けながら、一人ひとりの生活習慣を大切にしている。近隣の方々や友人の訪問の際は、誰でもが気がねなく立ち寄れる事業所としての雰囲気づくりに努め、馴染みの人や場所との関係が継続出来るよう支援に努めている。 |                   |

| 自己                                 | 外部    | 項目                                                                                  | 自己評価                                                                       | 外部評価                                                                                                                   |                   |
|------------------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                    |       |                                                                                     | 実践状況                                                                       | 実践状況                                                                                                                   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21                                 |       | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | ご利用者同士のトラブルは、職員がさりげなく間に入りながら個人個人を尊重した対応をしています。                             |                                                                                                                        |                   |
| 22                                 |       | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 長期入院で退居になった方に対し、利用時の写真をまとめご家族に渡したり必要に応じて情報提供を行っています。                       |                                                                                                                        |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |       |                                                                                     |                                                                            |                                                                                                                        |                   |
| 23                                 | (9)   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                        | 年1回は必ず居担にセンター方式を利用しのご利用者との面談を実施。ご利用者の意向をくみ取る1つの手法としている。それをもとにケアプランを作成している。 | 入所前の自宅訪問や従前事業者より、本人、家族から思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。また、センター方式を利用し、面談や日々の生活行動記録を基に、本人を主体とした今迄の暮らしが継続できるよう職員間で共有し日々のケアに繋げている。 |                   |
| 24                                 | (9-2) | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                    | ご利用者がこれまで生きてきた生活が継続できるよう、ご家族や入居前事業所より情報を頂き、今までの生活が継続できるよう努めています。           | 入居申し込み時の情報や事前訪問時の情報収集を丹念に行い、従前事業者からの情報を得て本人のこれまでの生活ぶりを把握し、入居後の生活に繋がるように努めている。                                          |                   |
| 25                                 |       | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                  | ケアプランに沿った個々の経過表を作成し、一日ごとに評価する方式をとっている。それによりご利用者の現状を把握しやすいようになっています。        |                                                                                                                        |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                     | 自己評価                                                                                                                                                                                                                | 外部評価                                                                                               |                   |
|----|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                        | 実践状況                                                                                                                                                                                                                | 実践状況                                                                                               | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 定例会議で、利用者の現状や問題点をあげ対策を検討し、必要であれば対応の変更を適宜行っています。ケアプランは著変なければ基本1年単位で見直し変更しています。軽微な変更は経過表に追記するなどして、その状態が長期続けばケアプランから変更するようにしています。ご家族の意向は聞き取り、計画作成が記入ではなく原案に同意をもらったうえでご家族に直接記入してもらう形をとることで家族もケアチームの一員として参加している形をとっています。 | 折々に定例会を開催し、実践状況及び生活記録を活用している。本人の状況把握に努め、本人、家族参加の下でモニタリング、カンファレンスを繰り返し行い、本人、家族の思いの反映された介護計画を作成している。 |                   |
| 27 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | ケアプランに沿った経過表を作成し、1日ごとに評価する方式をとっています。気づいたことは記録に残すようにしています。記録に残すことはもちろん、重要なことや対応変更が必要なことについては日誌等で申し送り職員間に周知するようにしています。                                                                                                |                                                                                                    |                   |
| 28 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 既存のサービスに捉われず、本人の意思で危険のない範囲でできることはして頂くようにしています。                                                                                                                                                                      |                                                                                                    |                   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | 地域の行事に地域の方の協力を得ながら参加しています。                                                                                                                                                                                          |                                                                                                    |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                  | 自己評価                                                                                        | 外部評価                                                                                                                                           |                   |
|----|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                     | 実践状況                                                                                        | 実践状況                                                                                                                                           | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | ご家族の都合にて当苑協力医に変更となることもあります。ほぼ入居前のかかりつけ医に継続受診しています。受診の際は情報提供書にて苑での状況報告や薬の調整を医師に相談するようにしています。 | 現在、利用者家族の望むかかりつけ医の受診継続が可能であり、通院時の家族の協力も良く利用者は安心して受診できている。受診の際には「情報提供書」を持参し、利用者の様子、経過、観察、連絡事項等、詳細な交換を行い情報の共有を図っている。看護師の週2回定期訪問があり、医療面の体制も整っている。 |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 看護師は週2回ではありますが、看護ノートを作成し利用者の状況把握がスムーズにいくようにしています。医療に対する疑問点や問題点等は、適宜看護師に相談し指示やアドバイスを受けています。  |                                                                                                                                                |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院・退院の際には、サマリーの作成や電話連絡、カンファレンスに出席するなど、家族・病院と情報交換や連携をとっています。                                 |                                                                                                                                                |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 看取りについては行わない旨は家族会でも話をしています。重度化については、家族・病院と情報共有しながら今後の対応について検討しています。                         | 重度化や終末期に向けた方針については、契約時に利用者、家族に事業所の方針について説明し同意を得ている。今後、家族の要望があって、重度化や終末期の対応としては、研修、会議を通して方針を共有しながら、家族、主治医と相談の上で要望に沿った終末期ケアの取り組みについてを前向きに考えている。  |                   |

| 自己                               | 外部     | 項目                                                                     | 自己評価                                                                                        | 外部評価                                                                                                                     |                                                                                                  |
|----------------------------------|--------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                  |        |                                                                        | 実践状況                                                                                        | 実践状況                                                                                                                     | 次のステップに向けて期待したい内容                                                                                |
| 34                               | (12-2) | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 急変・事故発生時に備え、マニュアルを作成、全員に周知しています。AED講習のDVDを見えています。                                           | 急変や事故発生時の研修としてAED講習を実施し周知している。市から配布されている「救急情報シート」を活用し、利用者の必要事項を記載した記録など準備し緊急時対応に努めている。                                   | 急変や事故発生時の研修としてAED講習実施記録の保管と利用者の急変、事故発生時の備えとしての「マニュアル」作成、また身体状態に合わせた行動が取れる対応策を定期的に学ぶ機会を持つことが望まれる。 |
| 35                               | (13)   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 災害発生時の避難場所について全員に周知、年2回の避難訓練も隣接する同法人施設と合同で行っています。夜勤者1人を想定し、地域の避難訓練にも参加しています。                | 年間災害計画に従い、隣接の同法人施設と合同で年2回実施している。地域の避難訓練にも参加しながら、地域との協力体制を築き様々な実践力を身につけている。今後、地域の方々に災害訓練を呼びかけ、応援要請を依頼できる関係性構築が期待される。      |                                                                                                  |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |        |                                                                        |                                                                                             |                                                                                                                          |                                                                                                  |
| 36                               | (14)   | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている         | 一人ひとりの人格を尊重し「言葉づかい」についても苑内研修を行い、新任職員に対しても行っています。プライバシー保護についても不適切な対応があった場合は申し送り時や会議で話をしています。 | 利用者個々の関わりの中で、言葉遣いや目線などプライバシーを損ねることのないような対応に努めている。居室入口名札の名前も住んでいた町名で掲げている。申し送り時や園内研修にて、言葉や対応について振り返りの機会を設け、職員の資質向上に努めている。 |                                                                                                  |
| 37                               |        | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている           | 買い物や外出希望時は対応しています。一人で外に出てもすぐに引き止めず様子を見守っています。職員が決定するのではなく、ご利用者の意見を聞きながら自己決定できるように対応しています。   |                                                                                                                          |                                                                                                  |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                               | 自己評価                                                                                                                         | 外部評価                                                                                                                                               |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                  | 実践状況                                                                                                                         | 実践状況                                                                                                                                               | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 38 |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 職員側の都合ではなく、無理強いをせず1人ひとりのペースに合わせています。                                                                                         |                                                                                                                                                    |                   |
| 39 |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 地域の美容室にて散髪や毛染めを行っています。自身で洋服を選んだり、整髪できるようにしています。職員によるマニキュアやボランティアによるハンドマッサージしています。                                            |                                                                                                                                                    |                   |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 皮むきからの下準備、調理、盛り付け、配膳、下膳、洗い物まで個々にできる事は積極的に行っています。                                                                             | 隣接の施設より食材が届き、献立は決まっているが、味噌汁、漬物などは利用者、職員で調理している。下準備、盛りつけ、配膳、洗い物など、できる利用者の力を発揮されており和やかな雰囲気が醸し出されている。月1回弁当の日や行事食など季節の食材を使った食事の提供など、食事を楽しむための工夫も行っている。 |                   |
| 41 |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 隣接する同法人施設の栄養士の作成した献立によりバランスのとれた食事を提供。食事・水分量は毎回記録、好き嫌いや禁止食材は職員間で共有しています。                                                      |                                                                                                                                                    |                   |
| 42 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 起床後、夕食後又は就寝前の口腔ケアは定着。朝・昼食後は声掛けにてタイミングはそれぞれですが無理強いはいないようにしています。痛みのある時は口腔内の確認を行い歯科受診等を検討。義歯洗浄もコップ脇にポリデントを置くと各自口腔ケア後ご自分で行っています。 |                                                                                                                                                    |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                              | 自己評価                                                                                                | 外部評価                                                                                                                                                                     |                   |
|----|------|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                 | 実践状況                                                                                                | 実践状況                                                                                                                                                                     | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている  | 排泄状況を観察し個人に適したりハパン・パットが使用できるようにし、状況によっては変更することもあります。全介助のご利用者でも便座に座ることを継続し、トイレでの排泄を支援しています。          | 排泄チェック表により排泄状況を把握し、利用者の状態やその場の状況に合わせ個々に適した排泄用品を使用されている。ズボンの上げ下ろしの一部介助等で自立動作が維持できるよう、見守り、トイレでの排泄を目標に「声掛け実践」を行っている。全職員が排泄ケアに向き合い、自立に向けた支援と機能低下予防の取り組みに努めている。               |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                  | 毎日の排便状況の申し送りをしています。水分の調整、排便コントロールは本人に合った方法を適宜検討し、ベストになる状態を調整しています。1日1回乳製品を提供したり、生活体操を取り入れたりしています。   |                                                                                                                                                                          |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 特に希望される方はいないので入浴間隔を考慮し、こちらから声掛けしています。入る順番を希望されたり、拒否がある時には対応しています。6月の菖蒲湯、12月のゆず湯、同法人施設の温泉に行くこともあります。 | 週2回の入浴を基本としており、棟によって個浴と機械浴の設備が整っている。利用者個々の衣服かごが準備され、衛生面の配慮と自己選択の工夫もされている。安全に入浴できる環境として、滑り止めマット、手すり、腰掛の設置等、事故防止に努めている。変わり湯として菖蒲湯、ゆず湯など季節を楽しんでもらう工夫や法人施設の温泉入浴を楽しむ機会も設けている。 |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                   | 日中は個々のペースで静養しています。就寝も消灯時間を決めず個々のペースに合わせています。室温管理や定期的なリネン交換を行い安心して気持ちよく眠れるように支援しています。                |                                                                                                                                                                          |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                          | 自己評価                                                                                                                              | 外部評価                                                                                                                                      |                   |
|----|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                             | 実践状況                                                                                                                              | 実践状況                                                                                                                                      | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                          | 薬カードはいつでも確認できるようにファイルに綴っています。服薬介助についてはマニュアルに沿った服薬支援を行っています。状態に変化があるようであれば医師に相談し調整を依頼しています。                                        |                                                                                                                                           |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 自分のことは自分で行う環境を整えています。洗濯たたみや干し、調理、掃除、裁縫等個人に適した作業を提供しています。                                                                          |                                                                                                                                           |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 季節を感じて頂ける場所への外出(お花見・もみじ狩り等)や地域のイベントにも地域の方のご協力を得ながら参加しています。又、行きつけの美容室、お墓参り等ご家族のご協力を得ながら外出しています。1人で外へ出た際も引き止めず、安全確認をしながら一緒に出掛けています。 | 家族や地域の協力を得て、四季折々外出の機会を設けている。家族同行で、お墓参り、外泊、食事等に出かけ、本人の意欲に繋げている。地域の方とは地域の体操教室、イベント、お花見、バーベキュー大会に参加し、友達とおしゃべりの時間を過ごすなど、利用者の思いや希望を大切に取り組んでいる。 |                   |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                             | 個人のお金は苑管理としていますが、買い物の際は本人に財布を渡し、支払いするよう支援しています。                                                                                   |                                                                                                                                           |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                      | ご家族とは自由に電話をしたり、手紙のやり取りができるよう支援しています。                                                                                              |                                                                                                                                           |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                               | 自己評価                                                                  | 外部評価                                                                                                                                                    |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                                  | 実践状況                                                                                                                                                    | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用の空間は季節の花を生けたり、四季を感じ取って頂ける壁面作りをしています。温度や照明、音等に配慮し居心地よく過ごせるよう心掛けています。 | 共有スペースは広く、天井の吹き抜けから、明るい陽射しが差し込み開放感のある生活空間となっている。ホール内には空気洗浄のピワシャワーを設置し、温度、湿度の環境対策にも心がけている。コーナーには季節感のある花や利用者の手作り作品を飾り、心の和みを感じるとともに、馴染んできた方言にも心の安らぎとなっている。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | 一人ひとり自由に過ごしています。気の合うご利用者同士は席を移動たり、居室に行きお話をされています。                     |                                                                                                                                                         |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | ご家族の協力を得て使い慣れた家具等をご持参頂くよう話をし、ご本人が居心地よく過ごせるようにしています。                   | 居室内には、本人、家族と相談し、馴染みの家具やテレビ、写真、手芸品などが自由に持ち込まれ、自宅生活の延長線上の環境で、安心して生活できるよう配慮されている。壁面には自作の作品や花を飾り、思い思いに居心地よく過ごせるよう工夫されている。                                   |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                             | 浴室に湯のれんをかけたり、居室名をご利用者が馴染みがあり分かりやすいように住んでいた地名としています。                   |                                                                                                                                                         |                   |